

図1. 釜石沖の $M \sim 4.9$ の固有地震的活動を含む地震クラスターの位置 (Matsuzawa et al., 2002). (A) 気象庁の $M6$ 以上の地震の震央分布 (1926~1998 年). (B) 東北大による微小地震の震央分布 (1995~1999 年). (C) 図(B) の枠内の拡大図. 枠内が $M \sim 4.9$ の地震群を含むクラスターである.

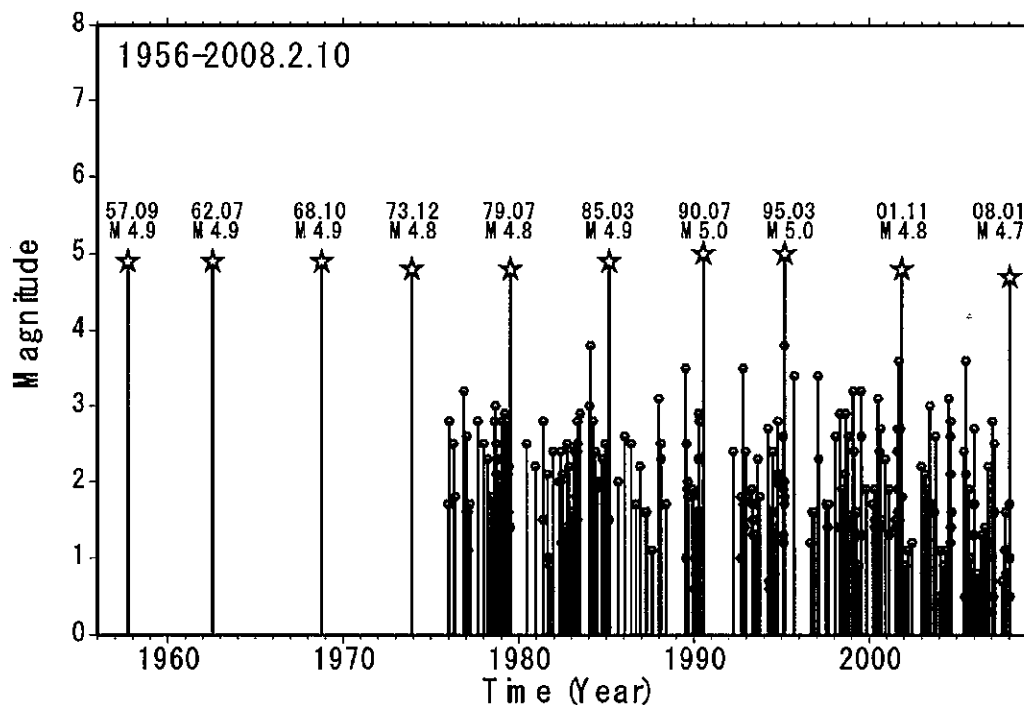


図2. 釜石沖の固有地震的クラスターの M-T 図. $M4$ 以上の地震については、気象庁の変位マグニチュードを示す (1995 年の地震は速度マグニチュードが $M5.1$). $M4$ 未満の地震は 1976 年以降についてのみ示す. 2003 年 5 月以降は気象庁の一元化震源カタログを用いており、2008 年の地震のマグニチュードは暫定値 (速度マグニチュードでは $M5.0$). 2008 年の地震は、2008 年 1 月 11 日 8:00 に発生し、2 日前の 1 月 9 日 10:41 に $M1.7$ の前震があった. 2 月 10 日までの期間に、余震は本震直後の 1 月 11 日 8:26 の $M1.0$ および 8:32 の $M0.5$ の二つのみ.